

# 福島イノベーション・コースト構想推進施設整備等補助金 （共同利用施設（ロボット技術開発等関連）整備事業）【復興】 平成30年度予算額 17.7億円（12.8億円）

福島復興推進グループ  
福島新産業・雇用創出推進室  
03-3501-8574  
製造産業局 産業機械課  
03-3501-1691  
商務情報政策局 医療・福祉機器産業室  
03-3501-1562

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 福島県浜通り地域等において、国内外の研究者、技術者、企業等の英知を結集するためにも、共同で研究を行い、イノベーションを創出する環境を整備していくことが必要です。
- ロボットは福島県の重点産業として位置づけられており、ロボット技術開発にあたっては、福島第一原子力発電所の作業等、人が入って作業することができない過酷な環境下等に対応するための高度で実践的な技術開発とともに、医療・介護ロボット等その他の分野における技術開発等が求められています。
- また、地元の中小企業等からも、ロボットに関する技術指導や試験設備の整備等が必要との声があがっています。
- こうしたことから、福島県浜通り地域等においてロボット分野等の先進的な共同利用施設・設備を整備・導入します（南相馬市の同一敷地内にロボットテストフィールドと一体的に整備を行います。）

### 成果目標

- 平成31年度までに施設を整備し、国内外の研究者が継続的に駐在し、基礎的・基盤的な研究を実施できる環境を整えます。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



※施設整備費については、平成29年度から平成31年度まで57.9億円の国庫債務負担行為を措置する。

## 事業イメージ

### 共同利用施設のイメージ

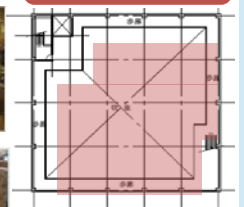
共同利用施設イメージ図



ロボット標準試験設備



多目的試験スペース  
(吹抜構造)



【A棟、B棟の2つの研究棟を設け、以下のとおり配置】  
〈A棟1階〉事務室、加工エリア、性能試験エリア等  
〈A棟2階〉研究室、会議室等  
〈B棟〉ロボットの標準試験設備・多目的試験スペース

■ 研究棟には、国内外の研究者による共同研究等実施のための研究室を整備。  
■ 地元企業等へのロボットに関する技術指導のための指導員を配置。



- 国内外の研究者、企業が多様なロボットの試作や基礎性能試験評価等に利用可能な共同利用設備を設置

レーザー焼結金属3Dプリンタ



金属粉末をレーザーにより焼結させ任意の3次元形状の精密部品を製作

耐振動試験装置



ロボットにランダムに振動をかけ耐振破損性能を試験